

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

Flow Diverter を用いた脳動脈瘤治療の効果と安全性に関する多施設共同登録研究

* Flow Diverter : 血管内治療に使用する医療機器

【目的】

脳動脈瘤の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより、Flow Diverter（商品名：Pipeline Flex）を用いた血管内治療の効果および安全性を評価し、より安全な治療法を確立することを目的としています。

【対象】

2016年7月1日から2018年12月31日に、当院で Pipeline Flex を用いた脳動脈瘤に対する血管内治療を受けられた患者さん

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、インターネットを介して調査票へ入力します。また、入力した調査票を研究事務局（神戸市立医療センター中央市民病院内に設置）へメールにて送付する場合があります。提出したデータは研究事務局において保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、脳動脈瘤の部位、脳動脈瘤の大きさ、治療内容、治療結果、経過 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2023年3月31日まで

【主任研究者】

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸

【共同研究機関】

神戸市立医療センター中央市民病院、順天堂大学病院、愛知医科大学病院、京都大学病院、信楽園病院、広南病院
獨協医科大学埼玉医療センター、筑波大学病院、国立病院機構大阪医療センター、兵庫医科大学病院
岡山大学病院、福岡大学筑紫病院、富山大学病院、名古屋大学病院、東京慈恵会医科大学病院、福岡脳神経外科病院
昭和大学藤が丘病院、久留米大学病院、仙台医療センター、藤田保健衛生大学病院、函館新都市病院
大田記念病院、虎の門病院、北海道大学病院、札幌白石記念病院、岩手県立中央病院、千葉大学病院
東京医科歯科大学病院、東京大学病院、信州大学病院、金沢大学病院、岐阜大学病院、三重大学病院
国立循環器病研究センター、横浜市立市民病院、県立広島病院、徳島大学病院、香川大学病院、大分大学病院
小倉記念病院、厚地脳神経外科病院、九州大学病院、大阪医科大学病院、新潟大学病院

【当院の研究責任者】

脳血管内治療科 増尾 修

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 脳血管内治療科 増尾 修

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。